



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

ロータリーを 祝おう 100年の歩み

2004～2005年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
ガバナー — 横山 芳 郎
会 長 — 渡 邊 喜 彦
会長エレクト — 小 越 憲 泰(クラブ奉仕A)
副 会 長 — 渡 辺 勝 利(クラブ奉仕B)
幹 事 — 五十嵐 寿一
S A A — 船 越 正 夫
会 計 — 荻 根 澤 隆 雄

例 会 日 — 毎週水曜日 12:30～

例会場及び 事務局 — 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店内

例 会 場 — TEL 35-3311

事 務 局 — TEL 35-3477
FAX 32-7095

E-mail:sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

web:http://www.soho-net.ne.jp/rotary/

(はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)



本日の出席会員数	66名中 39名
先々週出席率	89.06 %

先週のメイクアップ

9/23 米山奨学セミナーへ(新潟)

会田二郎さん

10/4 三条南へ

松谷昊吉さん、斎藤弘文さん、
熊倉昌平さん、金子俊郎さん、
石橋育於さん、加藤紋次郎さん

10/5 三条北へ

石橋育於さん、青木文雄さん、
斎藤弘文さん、清水良一さん、
加藤紋次郎さん、熊倉昌平さん、
松谷昊吉さん

会長挨拶

渡邊喜彦 会長



皆様こんにちは、本日は三条テクノスクールにお邪魔しての例会でございます。三条テクノスクールの坂内校長先生、淡路課長さん、本日は私ども三条ロータリークラブの職場例会を快くご了解いただき誠にありがとうございます。

さて、先程入ったホットなニュースですが、10月16日～17日の地区大会に於いて、当クラブ2003～2004年度、佐野年度のRI会長賞を受賞することになりましたので、ご報告いたします。

本日は、第一例会ですが年度計画の中の職場例会ということで、職場奉仕委員長の高森さんはじめ委員の皆様方のご努力により本日の例会を開催ができました。ありがとうございます。

さて、余談ですが、私も昭和38年春、新潟市の川岸町にございました県立新潟職業訓練所の自動車整備科に入学し、翌39年春に卒業いたしました。当時、整備の国家試験受験資格は一般では3年かかりました。

しかし、当時家の手伝いをしていた私としては、何としても早く資格を取り家に帰らねばならない状況であったため、当所に入学したのです。ここでは1年で受験資格を得られたのです。

現在は新潟市の鑑に平成3年4月に移転しておりますが、大変その節はお世話になったものです。その後、訓練所からテクノスクールと名前を変え、多くの卒業生を輩出し、社会に巣立った多くの優秀な人材は、いろいろな企業に貢献しております。

本日は、現在のスクールの状況や取り組んでおられます、いろいろな事項などを勉強させて頂き、理解を深めてまいりたいと存じます。

どうぞこれを契機に三条テクノスクールさんへの我々のご協力など出来ることを是非前向きに取り組んでいていただけるよう、私からお願いし挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い致します。



幹事報告

五十嵐寿一幹事

2003～2004年度表彰により地区大会で三条RCがRI会長賞に表彰されましたので、ご報告いたします。当日は前年度会長、佐野さんより受賞していただきます。

卓話

三条テクノスクール 校長 坂内英二様



テクノスクールの坂内と申します。本日はようこそテクノスクールにおいでいただきまして、ありがとうございました。感謝を申し上げます。

皆様方の活動等におかれましては、地元新聞あるいはホームページで拝見させていただいておりますが、皆様方の奉仕の活動等には大変敬意を表するところであります。

私共三条テクノスクールの前身の事を申しますと、昭和21年10月に三条市の興野に開設いたしまして、以後58年経っています。当時は三条の町でありますので鍛造科50名でスタート致しまして、名称が三条金工補導所という名称でありました。それ以来、名称も今は三条テクノスクールという名称になり、当時知事さんがもっと 트렌ディーな名称にしないかという事で、平成3年から三条テクノスクールという名称に変わっている次第でございます。科目の方も当時の鍛造科から、機械科、治工具仕上科、溶接科、プレス科、本当に地場産業に密着したものでございます。

ご案内の通り、皆様のお力によって昨年15年3月に校舎が完成しまして、1年半経過しているところでございます。私達職員及び生徒と共に環境の良い中で訓練が出来るという事は、皆様方に感謝申し上げます。

テクノスクールですが、知られている様で実際にはあまり知られておりませんで、渡邊会長さんからテクノスクールのOBという事をお話いただき、ご指導をいただいている斉藤造園さんを始め、大変ご協力いただいております方が大勢おられます。

このテクノスクールは、地域に開かれた三条の産業界に少しでも貢献出来る様にと考えていますので、今後共々ぜひよろしくお願い致します。

昨年、技能五輪大会に1,000余名が国内青年技能者満23歳以下の技能日本一を競う大会がありまして、当テクノスクールより5名の生徒が参加し、旋盤の部で60名中30番目の成績を得た訳でございます。三条が機械金属加工の地という事で、何かに参加しなければと思い、旋盤の部で参加させてまいりました。

三条テクノスクールの事業内容を申しますと、人材養成の為に訓練は若手技能労働者に技能を習得させ育成する訓練であり、高卒以上の課程ではメカトロニクス科、工業デザイン科、中卒以上を対象とする生産システム科があり、また再就職支援の為に訓練としてOA事務科、溶接科、CAD科、和裁科があり、パソコン経理科、介護ヘルパー養成科、森林環境保全科等、また障害者能力開発モデル事業も進めています。また、各事業主が従業員に行う社員教育

訓練の支援の為にマシニングセンター、機械組立、治工具仕上げ、金型製作、プレス加工、半自動溶接、パソコン表計算等実施しております。このようなものが基本的なものであります。出来るだけ若者に対象の巾を広げ、ターゲットをしぼっておる訳でございます。

メカトロニクス科は、2年間で空圧、油圧、自動制御技術、NC工作機による加工技術、金型製作技術を修得してもらうべく進めております。

工業デザイン科は、工業デザイン技術、設計生産、加工技術、マーケティング技術、プレゼンテーション技術等を習得している訳です。

工業デザイン業は非常に難しいもので、近くでは長岡の造形大学がありますが、当テクノスクールの2年間で何が出来るのか、それは現場でCADを使ったり、工作機械を利用して現場とデザイナーとの橋渡しが出来る、そんな事が出来る様な科目として新設した訳であります。

私共の訓練の内容を紹介させていただきました。今後共々よろしくご協力の程お願い申し上げまして、終わらせていただきます。

時間が許す限り、構内のご案内を致します。





次週例会 10月20日 クラブフォーラム

次々週例会 10月27日 横山ガバナー公式訪問（三クラブ合同）
於 VIP

